
目次

【1】 --- 教員コラム第 18 弾 第 3 回

「二つの書物と読書」医学生命倫理／杉岡良彦

【2】 --- 国内雑誌 127 誌「医書.jp」トライアル中！

[Book Review]・・・編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム第 18 弾 第 3 回

「二つの書物と読書」医学生命倫理／杉岡良彦

「すべて良書を読むことは、著者である過去の世紀の一流の人びとと親しく語り合うようなもの」――これは近代哲学の祖と言われるルネ・デカルトが『方法序説』（谷川訳、岩波文庫、13 頁）の中で述べている言葉です。私たちは、プラトンや、デカルト、あるいはクロード・ベルナールやハンス・セリエともはや直接語ることはできません。しかし彼らが残してくれた書物を通じて、現在でも彼らと語り合うことができるのです。何とすばらしいことでしょうか。

ところで、医学部に入り、そして医者になってからも、勉強や臨床あるいは研究で忙しく、なかなか読書をする時間が取れないというのが現実だと思います。実はわたくしもその一人でした。そして読書とは医学や科学とは関係のないジャンルの本を読むことだと何となく考えていました。そんな時に、「二つの書物」という言葉を知りました。これは例えばガリレオの『偽金鑑識官』という本の中にも書かれているのですが、要点は神が二つの書物を書いた。一つは聖書でありもう一つは自然である。いずれを理解するにも書かれた言葉を理解しなければいけない。聖書を理解するにはヘブライ語、ギリシャ語、ラテン語という言葉を理解する必要がある。一方、自然を理解するには「数学」という言葉を理解する必要があるという内容です。大変面白いと思いました。医学研究の際も、われわれは「人体という自然」の書物を読み解こうとしているのです。書かれているのは数学というより遺伝子や分子という言葉かもしれません。もちろん疫学研究の際には数学（統計学）という言葉が重要ですが。

さらに、臨床現場では、ナラティブ・ベイスト・メディシン (NBM) が重視されていますが、これはまさに患者さんの人生の「物語」を読みながら、患者さんと共に解釈しながら、これからどのような物語を患者さんが書いていくのかを手助けする作業とも言えます。あるいは医師は共著者かもしれません。

こう考えると、われわれは研究の時も臨床の時もともに、人体という書物を読み、患者さんの物語を読むという意味で、つねに読書をしているともいえなくはありません。そして研究や臨床を突き詰めていく過程で、それに関わる様々な文献を読む必要に迫られます。医学とは何かを哲学的に問う医学哲学を研究する筆者は、科学的文献も哲学的文献も、幅広く読まなければなりません。しかし、過去の人物や海外の人々とも語り合える読書は、時に精神的緊張が強えられることは確かですが、新たな発見があったり、全く異質とされていた概念がつながると、心がワクワクします。読書は研究や臨床の豊かな実りのために、肥沃な土壌を提供してくれるのだと思います。

そして何より、鴨川と大文字山や比叡山を見ながら時間を過ごせる本学が、どれほど読書や研究に恵まれた環境であるのでしょうか。筆者も再度、「二つの書物」を意識しながら、この大学の環境を生かしつつ、豊かな収穫を目指して「読書」をしたいと思います。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 国内雑誌 127 誌「医書.jp」トライアル中！

.....

【[医書.jp](https://webview.isho.jp/journal)】 <https://webview.isho.jp/journal>

『medicina』『画像診断』『Hospitalist』『臨床放射線』など国内出版社 19 社 127 誌の電子ジャーナルをトライアルで提供中です。

◆トライアル期間：2023/10/10(木)まで

リンクリゾルバ SFX にも登録済。医中誌 Web からスムーズに全文までリンクします。

[Book Review]

.....

武田百合子『富士日記』（中央公論新社 2019）

夏休みに旅行に行きたいけど暑すぎるし人も多いし...という方は、読書で旅行気分を味わ

うのもお勧め。本書は武田泰淳の妻百合子が富士山麓の山荘生活を綴った日記。本宅は赤坂のマンションで、流行中の二拠点生活を半世紀以上に先取りしている。食事のメニューと毎日の行動、買い物の細々した記録を読んでいると、東京と地方の文化的格差が激しく、不便で、良くも悪くも大らかだった昭和 40 年代にタイムスリップした気分になる。行動的で煙草を嗜み、口は悪いが料理上手の百合子が恰好良い。この夏は昭和 40 年代の富士山麓への旅はいかがでしょう。

(Y.S) (京都府立図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4122067375>

.....

図書館メール News524 号 2024.8.15 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>